

IMF サーベイ

政府支出と債務

IMF、財政の透明性を巡る 取り組みの強化を求める

IMF サーベイ・オンライン
2012年11月1日



米国のファニーメイなど、準公的機関の問題は、政府による救済措置が必要となるまで総じて明らかとなっていなかった。（写真: Karen Bleier/AFP/Getty Images）

- 政府の財政状況の透明性の向上が不可欠
- 透明性の向上こそが、危機への効果的な政策措置のカギ
- IMF、加盟国の基準遵守状況のモニタリング強化へ

財政の透明性は、効果的な財政政策の形成およびリスク管理の重要な要素だが、最近の危機により政府の財務状況に対する理解のギャップが浮き彫りとなったとともに、財政の報告基準、慣行およびモニタリングの改善の必要性が明白となった。

危機の後、国際通貨基金（IMF）が新たに発表した[報告書](#)は、財政の報告基準の改善、加盟国によるこれら基準の採択の迅速化、およびIMFなどによる財政の透明性のモニタリングの手法の改善の必要性を指摘している。

これまで15年間で財政の報告基準と慣行は改善されてきた。しかし、最近の危機により、先進国・地域でさえも、政府の財政状況およびそれにかかるリスクに関する理解が不十分であることが明らかとなった。

IMFによる財政の透明性、説明責任およびリスクに関する報告書は、財政の透明性の状況を調査し、その改善への方策を検証している。

高まる開放性

過去15年間に渡り、財政の透明性のための一連の国際基準が開発されてきた。例えば、IMFの「[財政の透明性に関する優良慣行規定](#)」や「[政府財政統計マニュアル](#)」、そして[国際会計士連盟](#)が作成した「[国際公会計基準](#)」などを例に挙げることができよう。

また、IMFの報告書によると、この期間で、歳入規模にかかわらず財務に関する報告の包括性や質、適時性において確実な前進が見られた。

現在では、40%以上の政府が一般政府全体をカバーした財政統計を、また20%以上の政府が少なくとも自らの金融資産と負債のバランスシートを作成している。

IMF 財政局のカルロ・コッタレリ局長は「我々は、財政の透明性改善へのアプローチを見直す最適な時にある」と述べた。「危機により、財政に関する包括的で信頼に足る時宜を得た情報が、効果的な財政管理の基礎であることが改めて明らかとなった。また同時に財政の報告基準と実践面でのギャップも明確となった。このことから、財政の透明性の向上が危機への財政政策面での対応の中核であるべきである」

危機で明らかになった不十分な透明性

IMFによると、このように前進した一方で、政府の基本的な財政状況とそれにかかるリスクに対する理解は現在でも不十分である。これは、ギリシャとポルトガルで、危機の後、それまで報告されていなかった財政赤字と債務が浮上したことで明白となった。また、ファニーメイやフレディマックといった準公的機関の財務面での問題が、政府による救済措置が必要となるまで総じて明らかとなっていなかった米国でも見られた。

アイスランドやアイルランド、英国といった国内の銀行部門が大きな国々では、財政への最大のショックは、多くの場合明らかでなかった政府の金融部門に対する負債が明確となったことにより発生した。

このように財政の透明性が不十分であった背景には、現行の財政の報告基準のギャップおよび不一致があり、こういった基準の国による遵守が遅れまた一貫性に欠けており、遵守状況を監視する効果的な多国間的機能が欠如していることがあった。

透明性の向上

IMF のペーパーは、危機により明らかとなった基準と慣行の不十分さへ対処し、また、財政への圧力が増すなか財政の不確実性が再び生じることを防ぐための、財政の透明性の取り組み強化の要点を示した。

このペーパーの中で IMF は、財政の透明性と財政の結果の関係性を検証するとともに、これまで 10 年間の財政の透明性向上の進捗をレビューしている。さらに、財政の透明性の現在の基準、慣行およびモニタリングの取り決めへの最近の危機からの教訓を検証し、危機後の財政の透明性の世界的取り組みの強化のための一連の提言を示している。

実際には、これは以下を意味している。

- **財政の報告基準の改善。** IMF の財政の透明性に関する優良慣行規定も対象とする。これは、財政報告の対象となる組織の拡大、より幅広いフロー、資産、および負債の認識、財政の見通しとリスク管理のための新たな基準の策定などを含む。
- **これら基準の導入加速化にむけた協調を強化。** これには、議会や最高会計検査機関、財政評議会などの財政の透明性のための国内基盤の強化に向けた国レベルでの措置が必要となる。また国際レベルでは、IMF などの多国間組織が発生主義会計の導入や公益法人の財政面の監督の実施などに関する、より実践的な指針を提供する必要がある。
- **国の基準の遵守状況の国際的なモニタリングを強化。** なかでも、IMF は、現行の財政の透明性に関する「[国際基準の遵守状況に関する報告書 \(ROSC\)](#)」を、各国の財政報告慣行と成果の評価へのより分析的かつモジュールベースの段階的なアプローチに切り替える必要がある。